

学生のための
男女共同参画
ワールド・カフェ

PART 3

100人 男子会×女子会!

学生だけの本音ミーティング in みえ

[報告]

日時:平成26年6月28日(土)10:00~12:30

場所:四日市市文化会館(三重県四日市)

主催:文部科学省生涯学習政策局男女共同参画学習課

共催:NPO法人ファザーリング・ジャパン
三重県

協力:独立行政法人国立女性教育会館(NWEC)
国立大学法人三重大学

後援:内閣府男女共同参画局



はじめに

平成 26 年 6 月 28 日 (土)、三重県四日市市にて「100 人男子会 × 女子会 (だんじょかい) ! ~学生だけの本音ミーティング in みえ~」をファザリング全国フォーラム in みえの分科会として開催しました。

このワールド・カフェは、文部科学省における男女共同参画社会の形成に向けた取組の一つとして、これから社会で活躍する学生が、男女の働き方や家庭生活に関する現状を知り、お互いの本音トークをヒントに将来の「生き方」や「働き方」、「男女が共に活躍できる社会」について考える機会を提供することを目的に実施しています。

平成 24 年度は男子学生のみで「100 人男子会」を、平成

25 年度は女子学生も加え、「100 人男子会 × 女子会」を実施しました。3 年目となる今年、参加者と同じ大学生がファシリテーターとなり、同年代の学生同士による率直な対話が行われました。

本報告書にて、当日の様子をお伝えします。全国に同様の取組が広がり、多くの方に男女共同参画社会について考えていただくきっかけになれば幸いです。

※過去の報告書については、「男女共同参画社会のために」(<http://danjogaku.mext.go.jp/>) または文部科学省ホームページ (http://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/kyoudou/index.htm) を御覧ください。

01

ワールド・カフェ



[参加者について]

参加者：大学生、大学院生、短大生

参加人数：115名

(男子73名、女子42名)

ワールド・カフェとは？

ワールド・カフェとは小グループで席替えを繰り返しながら議論を深める話し合いの手法です。あたかも参加者全員が話し合っているような効果が得られます。



ゲスト
コメンテーター
からのコメント

閉会

講師

萩原 なつ子

立教大学大学院
21世紀社会デザイン研究科教授
認定特定非営利活動法人
日本NPOセンター副代表理事



内閣府「男女共同参画推進連携会議」議員。前文部科学省「中央教育審議会生涯学習分科会」委員。大学で教鞭をとる傍ら、市民参加型の様々なワークショップに関わっており、広範なネットワークを生かして、ユニークで斬新なイベントを仕掛けている。

ゲストコメンテーター

吉田 大樹

特定非営利活動法人
ファザーリング・ジャパン
代表理事(当時)



1977年生まれ。三児のシングルパパとして子育てに奮闘中。「労働安全衛生広報」「労働基準広報」(労働調査会発行)記者として、働き方や生き方の変革を訴えてきた。2003年に安藤哲也氏が立ち上げたNPO法人ファザーリング・ジャパン会員となり、理事を経て、2012年に代表理事に就任。内閣府「子ども・子育て会議」委員、厚生労働省「イクメンプロジェクト」推進委員会委員も務める。

02

ファシリテーター

江口春斗

三重大大学3年生



大学1年生の頃から、三重大を拠点に留学生交流団体を運営し、町づくりの分野では、3つの市町村に入り、ワークショップやイベントに参加。この経験を生かし、学生支援の分野や障がい者支援の分野でも活動中。2年生からは、三重の過疎地域に留学生と日本人学生で共に訪問したり、地域の未来と学生の将来を重ね合わせて考えるイベントでファシリテーターを務めたりするなど精力的に活動している。

三二二三 講義

講師：萩原 なつ子氏

立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科教授
認定特定非営利活動法人日本NPOセンター副代表理事

▼男女共同参画の基本理念とは

皆さん、まず、「男女共同参画とは何か」というと、基本的な人権の問題なんです。男性も女性も共に生きやすいということ、それはお互いの人権を尊重し合うことだと思います。この男女共同参画の基本となるものとして、日本国憲法があります。憲法第 14 条に「すべての人は平等である」とあります。もう一つ重要なものが女子差別撤廃条約です。私たちは国際的側面からも考えていかなければいけません。男女が共に生きやすい社会というのは、グローバルなところにもつながっていきます。女子差別撤廃条約を批准するために、例えば男女雇用機会均等法がつけられたほか、国籍法の改正など、様々な国内法の整備が行われました。

「男女共同参画社会基本法」、これを知っている方はどれくらいいますか？ 男女共同参画社会基本法ができて今年で 15 年目になりますが、この基本理念には 5 つの柱があります。トップは男女の人権の尊重です。2 番目が社会における制度・慣行についての配慮。例えば、私の場合、最初に広告代理店に勤めたのですが、結婚したら辞めなければいけない、と言わ



【図 1】 男女共同参画に関する国際的な指標

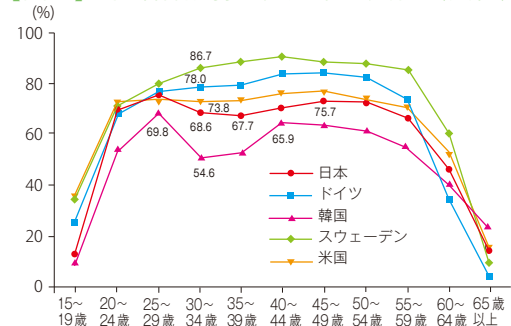
GGI	2013 年公表	順位	国名	GGI 値
[ジェンダー・ギャップ指数]		1	アイスランド	0.873
105 位 / 136 개국		2	フィンランド	0.842
		3	ノルウェー	0.842
		4	スウェーデン	0.813
		5	フィリピン	0.783
		6	アイルランド	0.782
		7	ニュージーランド	0.780
		8	デンマーク	0.778
	
		105	日本	0.650

【参考】 日本の各分野の順位と GGI 値

〔 経済分野 104 位 (0.584)、教育分野 91 位 (0.976)
保健分野 34 位 (0.979)、政治分野 118 位 (0.060) 〕

出典 世界経済フォーラム The Global Gender Gap Report 2013 より作成

【図 2】 年齢階級別労働力率の変化（女性）



備考 1. 「労働力率」は、15 歳以上人口に占める労働力人口（就業者 + 完全失業者）の割合。
2. 米国の「15~19 歳」は、「16~19 歳」。
3. 日本は総務省「労働力調査（基本集計）」（平成 24 年）その他の国は ILO「LABORSTA」、ILOSTAT より作成。
4. 日本は 2012（平成 24 年）、その他の国は 2010（平成 22 年）の数値（ただし、ドイツの 65 歳以上は 2008（平成 20 年））。
出典 内閣府「平成 25 年版男女共同参画白書」

れて辞めました。“昔からそうだから”といった慣習がまだまだ根深くあるのです。

そして3番目は、政策等の立案および決定への共同参画。例えば、三重県の県議会の女性と男性の議員の割合がどうなっているか、知っている方はいますか？ これも重要です。物事を決定するところでの男性と女性の割合は、本来、フィフティ・フィフティのはずですが、なかなかそうはなっていません。家庭でも何か大きなものを買ったりするなど、何かを決めるときに、父親だけで決めるのではなく、夫婦で話し合いながら、あるいは子供も一緒に協力して決めていく。これが、共同参画ということ。4番目が、家庭生活における活動と他の活動の両立、ワーク・ライフ・バランスです。そして5番目が国際的協調です。

しかし、これらを言わなければいけない状況にあることを認識してください。本来ならば言わなくていいことなのですが、言わなければいけない状況にあるよ、ということです。

▼国全体で女性の活躍を推進

この数字の意味は？

105

それでは、数字を見ていこうと思います。「105」この数字を聞いたことのある方はいますか？これは、世界経済フォーラムという国際団体が各国の男女格差を図るジェンダーギャップ指数を順位付けしているものです。日本は昨年135カ国中101位でしたが、105位まで落ちてしまいました。なぜ105位に落ちてしまったかということ、女性の衆議院議員の数が減ったからです。それで日本の女性の国会議員は絶滅危惧種だ、と言われました。私は環境分野も研究対象としてい

ますが、生物多様性を研究していると絶滅危惧種の場合は手厚い保護、そして積極的な政策がとられるものですが、衆議院議員の女性は、数が減っても手厚い保護はされていません。ほかの国ではアフーマティブ・アクションという方法がとられている例もあります。

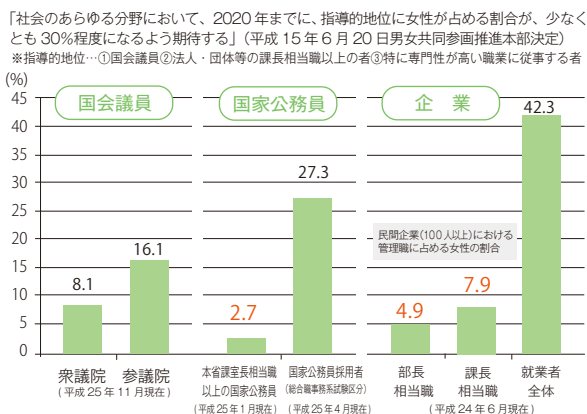
この数字の意味は？

202030

次の数字、「202030」。2020年までに指導的な地位に占める女性の割合を30%以上にしようと、国が目標としている数字です。国家公務員の採用者や、専門性の高い職業に従事する者など、物事を決定する地位にいる女性を30%以上にしようとということです。

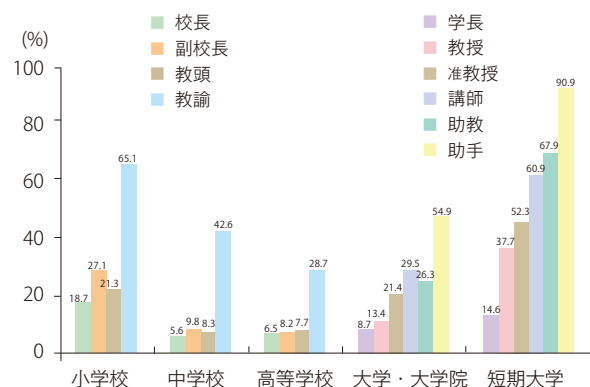


【図3】各分野における「指導的地位」等に占める女性の割合



備考 内閣府「女性の政策・方針決定参画状況調べ」(平成25年12月)より作成
*就業者全体・・・総務省「労働力調査」(平成24年6月)より作成。

【図4】教員に占める女性の割合



備考 文部科学省「学校基本調査」(平成24年度)より作成
出典 内閣府「平成25年版男女共同参画白書」



なぜかという、国家公務員の中でも課室長職以上は女性が少ないのです。企業でもトップにいる女性が少ない。私は大学の教授ですが、女性の教授も実は大変少なく、全体の13%しかいません。今、大学生は半数以上が女子学生なので、女性の教員を増やそうとしています。

また、地域づくりということが注目されていますが、自治会長もほとんどが男性です。これがどういう問題を引き起こすか。東日本大震災のようなことが起こると、再生復興の際に男性だけで物事を決めてきたところでは、いろいろな課題が起きやすいという状況がありました。ですから、今、地域の中でも物事を決定するところの女性の割合を30%にしようという女性参画への動きが進められているのです。

それから、労働力率。女性の年齢階級別労働力率の変化のグラフです。なぜ男性は台形、女性はM字型なのかという問題もぜひ考えていただきたいと思います。

また、週60時間以上の長時間労働をしている男性の割合は非常に高く、大問題です。国際的に見てもとにかく長すぎる。男性に一生懸命「家庭のことも地域のことも一緒にやろうよ」と言ってもなかなか難しい現実があります。

そして、男性の育児・家事時間は、女性に比べて非常に短い状況です。そのためにファザーリング・ジャパンは全国大会を毎年開いている。父親も一緒に協力し合って頑張ろうじゃないか、ということですね。

今、共働き世帯の割合が多くなっている状況の中で、女性の長時間労働も非常に問題になっています。もっと仕事も家庭も、それから地域活動や趣味など、さまざまなことをしていけるパラレルキャリアのようなものを目指すには、私たちはどういう働き方、生き方をしていっていいのでしょうか。皆さんがこれからの社会を引っ張って行く役割を担っていく上で、一つの課題だと思います。

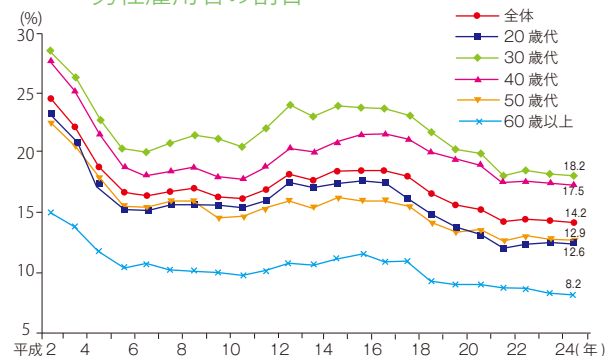
そして今、政府から女性の活躍推進に関する方針が出されています。女性たちの輝きを応援するというので、さまざまな施策がとられるようになってきました。昨日も内閣府で活躍する女性を顕彰する「女性のチャレンジ賞」の授賞式がありました。厚生労働省では子育てサポート企業を「くるみん」マークで認定したり、内閣府では「カエル! ジャパン、Change! JPN」というキャンペーンを行っています。一つ働き方を変えてみよう、一つ生き方を変えてみよう、まず何か変えることにより社会を変えていこうという試みです。経済産業省でも、多様性を認める企業づくりをしているところを表彰する「ダイバーシティ経営企業100選」など、霞が関の中でも施策が活発に行われています。

男女の性別に関わりなく、多様な機会や生き方の可能性があり、その人らしくのびやかに生きられる社会。それぞれが自分にふさわしい生き方、ライフスタイルを選択できる社会。誰もが働くことと家庭生活、地域生活を楽しめる社会。そういう社会をつくっていききたいというのが、この男女共同参画の大きな目標となっています。

皆さんには、これからワールド・カフェをしていただくのですが、男性もいろいろな人がいて、女性も多様だと思います。それぞれの違いを認め合い、お互いに理解し合っていく。そして、自分らしく生きていく社会をつくっていくためには、自分には何ができるのかということも一緒に考えていただければと思います。

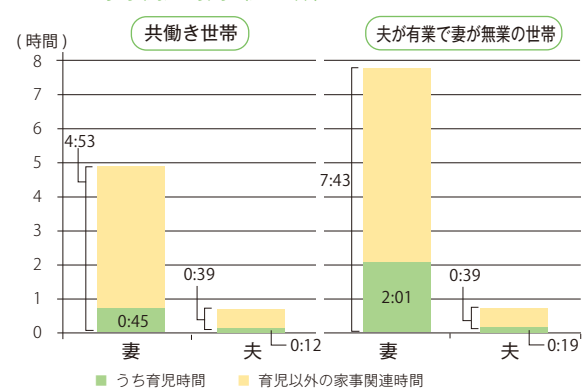
皆さん、楽しんでまいりましょう。

【図5】年齢別・就業時間が週60時間以上の男性雇用者の割合



備考 資料：総務省「労働力調査」
1. 数値は、非農林業就業者（休業者を除く）総数に占める割合。
2. 2011年の値は、岩手県、宮城県及び福島県を除く全国結果。
出典 内閣府「平成25年版男女共同参画白書」

【図6】6歳未満の子を持つ妻・夫（夫婦と子供の世帯）の家事関連時間（週全体）



※「家事関連時間」は、「家事」、「介護・看護」、「育児」及び「買い物」の合計
出典 総務省統計局「社会生活基本調査」より作成



ワールド・カフェ

今回のワールド・カフェは 100 人を超える人数が集まり、27 テーブルとなった。1 テーブルに男女混合で 5 人ずつ席につき、1 ラウンド終了ごとに席替えをし、互いの意見を広く共有。「男女共同参画社会」について自分にとっての学びと気づきを得ることを目的とした。

ワールド・カフェの導入



ファシリテーター江口氏の挨拶があり、今回のワールド・カフェの流れ、話し合いのルール等が説明されました。

ルール

- 議論ではなく対話を。どんな意見も否定せずに歓迎し、みんなで対話を楽しもう。
- 模造紙は共通のメモ帳。自分たちの考え、気づきを可視化しよう。
- ファシリテーターが手を挙げたら終わりの合図。自主的に対話をやめよう。

本日の目的

1. 「男女共同参画社会」についての現状を知る
2. 男女で話し合うことを通して、男女の違いや共通点を理解する
3. 「男性にとっても、女性にとっても生きやすく、共にイキイキ過ごせる社会」についての理解を深め、自分にとっての学びと気づきを得る



【私の未来想像シート記入】

各自の手元にある「私の未来想像シート」にそれぞれ記入します。将来の仕事や働き方、結婚、子ども、趣味、暮らし、生活ぶりなどのテーマに分けた質問項目に答えていきます。



私の未来想像シート

仕事・働き方

働く上の優先順位は、
1位: _____
2位: _____
3位: _____

正確、せめて、
年収 _____ 万円
は、ほしい!

収入の理想の分割比率は
「男」: _____ 「女」: _____

会社員 or 自営業 or 公務員 or NPO職員 or
専業主婦(主夫) or フリーター or
その他()

定年以後は、
_____ をしたい。

死ぬまでには、
_____ をやりたい!

結婚・子ども

結婚は _____ 歳まで
にはしたくない...

専事の理想の分割比率は
「男」: _____ 「女」: _____

子どもは、_____ 人
がほしいな...

片働き(自分のみ) or
共働き or 主婦(主夫)
がほしいな...

子どもは、
_____ ほしい or ほしくない

育児は、絶対に取る or
取れたら or 別に...

趣味・暮らし・生活

マイホーム派 or 賃貸派

住むなら、地方暮らし or
都会暮らし or 海外暮らし

_____ を趣味に!

_____ が好き

_____ の分野で
働いてみたいな...

_____ がんがん働きたい or
そこそこでいい or
まったりがいい



第1ラウンド
[15min.]

問1

男女で、どのような違いや共通点がありますか？



いよいよ第1ラウンドの始まりです。
封筒から問1を取り出します。



スライドで皆で問1を共有します。



「私の未来想像シート」を使って
自己紹介しながら、
問いについて意見をいいます。

『何で、何で』とどんどん
突っ込んで聞いてあげましょう。



意見に対して互いに質問し合ったり、
共有しながら対話を進めます。



模造紙にメモし、それぞれの
気づきを目に見える形にしながら
対話をします。

07



傍聴人もテーブルを
回って聴いています。



見やすいように、
太めのマジックで
書いてあげて
ください



ファシリテーターが手を挙げて
終わりの合図を出します。



ここで席替えです。
1人がテーブルホストとして残り、
他の4人は席を移動します。



第2ラウンド

[20min.]

問1

男女で、どのような違いや共通点がありますか？



男女混合で席に着き、
第2ラウンドの始まりです。



挨拶と自己紹介からはじめます。



第1ラウンドと同じ問1について
2回目のラウンドです。



テーブルホストが移動してきた人に
そのテーブルで出ている意見を話します。



移動してきた人も自分のテーブルで
出た意見を共有します。



活発にいろいろな意見が
出ています。



違いや共通点が可視化できるよう
模造紙に書き込んでいきます。



手が挙がりました。
ここで第2ラウンド終了。
席替えです。



テーブルホストを残し、
他の4人が違うテーブルに
移動します。



第3ラウンド

[20min.]

問2

男女ともに望むことを実現させるためには、
何が必要だと思いますか？



問2の封筒を開けます。



新しい問いになりました。



これまで話し合ったことを生かして、
今度は未来のために話し合ってください



自己紹介をしてから、
対話に入ります。



第1ラウンド、第2ラウンドで
出た意見や感じたことを共有して、
問2に入ります



対話することに慣れて来たのか、
どんどん意見がでてきます。



ファシリテーターの手が挙がり、
第3ラウンド終了です。



「まとめシート」が
配られます。



第4ラウンド

[15min.]

問2

男女ともに望むことを実現させるためには、
何が必要だと思いますか？



席替えはせずに第4ラウンドに入ります。



「まとめシート」が配られたか手を挙げて確認。



これまで男女の違いと過去、今と未来と話してきましたね。ここで問いの答えをシュッと要約して、ワンフレーズで書いてください。



「まとめシート」にそのテーブルの答えをワンフレーズで書きます。



すぐにワンフレーズが決まるテーブルもあれば、なかなかまとまらないところも。



だんだんまとまってきました。



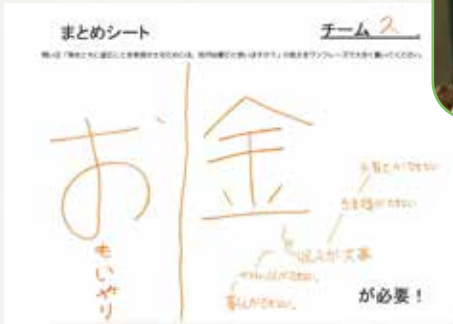
第4ラウンド、早かったですね。皆さんまとめるのも早くて、すごくスムーズなのが、すごいなと思って見ていました。



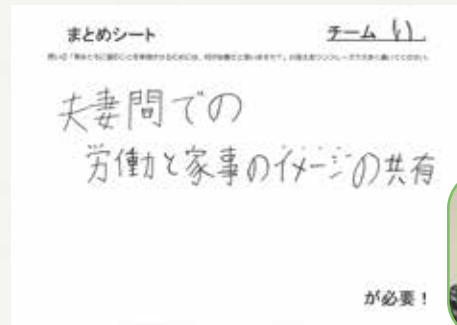
全体共有

[15min.]

【まとめ】



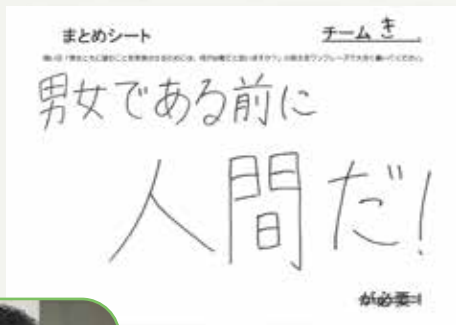
私たちのチームでは、一言で言うと「お金」です（笑）。夢はあまりないかもしれませんが、理由は2つ。1つ目は「何はともあれ、収入は大事ですよ」と。収入がないと結婚や子育てなど、やりたいことができないかもしれないというのが理由です。2つ目は「結婚は30代までにしたい」という人が多く、その環境づくりや仕組みをつくるには、やはりお金が大事だなという話になりました。ただ、「お金」と書いた下に「思いやり」と書いたんです（笑）。お金だけではなく思いやりも大事だと思います。



私たちのワンフレーズは「夫婦間での労働と家事のイメージを共有することが必要」になりました。例えば家事一つをとっても、男女それぞれが家事に持っているイメージは結構違うと思います。

女の人は主体になって家事をやる。例えば、赤ちゃんのおむつを替えたりなど、汚いことでも何でもやるという意識があると思うのですが、男の人は、「いや、汚いことはできない」というような、あくまでサブに回る家事だと思います。

そこをまず男女で共有して、じゃあ実際どういふ家事をやらなければいけないのかということから始めることが必要だと思ったので、「労働と家事のイメージの共有」ということになりました。



私たちは「男女である前に人間だ！」です。そもそも育児は男女ともに行うべきものなので、イクメンという言葉自体が不自然だと思うのです。そうではなく、男、女を抜きにして、人として一緒に社会をつくっていこうという考えに改めたほうがいいのではないかと考えています。

また会社でいうと、男ばかりが意見を言ったりしがちと聞きますが、そうではなく、女の人と一緒に頑張っていきたいな、という方向にできたら、もっと活動や考えに幅が出てくるのではないかと考えました。



私たちは「相互理解」になりました。夫と妻だけでなく、両親との同居や独身の人も、家庭の範囲はさまざまであるということを含頭において議論しました。

もちろんお金は必要だということも、お金がない人は結婚できないのかということではない、愛が必要ではないか。その次に、愛と相互理解はすぐつながっているのだから、相互理解。夫婦間だけでなく、社会に自分の意見を発信して、社会からも認めてもらうことも相互理解です。それができれば、それぞれやりたい人生を送れるのではないかとまとまりました。



まとめシート チーム モ

※この「まとめシート」は参加者の意見をもとに、事務局でまとめました。内容はあくまで参考です。内容はあくまで参考です。

愛

♡

※注 現実的にはお金が必要！



私たちのチームでは、「愛」となりました。現実的には「お金」も大事だねという意見を持ちつつ、お互いの違いを埋めていくには、やはり愛、相手を思いやる心が必要だということになりました。あと家事の分担についても、知らないことが出てくる場面があるだろう。その知らないことをどう乗り越えたらということも問題に。知らないことでも楽しんでやれるという気持ち、前向きな気持ちが必要ではないかと。ですから、知らない壁にぶつかってもそれを楽しめる自分たちの度量をつけていこうと決めました。

まとめシート チーム ニ

※この「まとめシート」は参加者の意見をもとに、事務局でまとめました。内容はあくまで参考です。内容はあくまで参考です。

相互援助
歩み寄り

が必要！



僕たちの班は、2フレーズ「相互援助」と「歩み寄り」です。「歩み寄り」というのは悪く言えば妥協ですが、お互いが望むことを実現させるためには、例えば「僕は今日とても旅行したい気分になったから、家事とかよろしくね。また今度、そちらがやりたいことがあったら僕が頑張るから」というように、お互いに歩み寄ることで上手くいくのではと。結婚生活でもそうですし、男女でなくても個人同士、お互い仲良くうまくいく方法ではないか。僕たちの班ではこれが必要だと思いました。

まとめシート チーム ヨ

※この「まとめシート」は参加者の意見をもとに、事務局でまとめました。内容はあくまで参考です。内容はあくまで参考です。

価値観教育

が必要！



私たちのチームでは、「価値観教育」となりました。今、女性が望んでいることは、社会進出です。地方議会で女性議員が増えないのは、地元のしがらみなどがあり、立候補をしてもあまり良く思われないからだと聞いたことがあります。そういう価値観ではなく、みな同じなんだよと認識させる教育が必要です。政府としての教育も必要ですし、自分たちが親として、子どもに対しての教育としても必要ではないかと思い、価値観教育を選びました。

まとめシート チーム コ

※この「まとめシート」は参加者の意見をもとに、事務局でまとめました。内容はあくまで参考です。内容はあくまで参考です。

社会改革

が必要！



私たちは、「社会改革」を挙げました。これは今までどのグループも出していなかった意見だと思うのですが、そもそも法律整備や制度整備をしない限りは、社会に根づいていかないんじゃないか、と。

例えば、育休の制度もそうです。イクメンという言葉がはやっているだけで、実際に育児休暇をとっている男性は少ない。今後は法律でしっかり制御し、育児休暇を男性に与えない企業に罰則を与えるなど、改革が必要かと思い、この意見を書きました。



全体共有

[15min.]

【まとめ】



まとめシート チーム ね
※この「まとめシート」は参加者の意見から、事務局が作成しています。ご意見がございましたら、事務局までご連絡ください。

異性の立場に
 立、て考える
 姿勢！

が必要！

まとめシート チーム ど
※この「まとめシート」は参加者の意見から、事務局が作成しています。ご意見がございましたら、事務局までご連絡ください。

思いやり

が必要！

まとめシート チーム ち
※この「まとめシート」は参加者の意見から、事務局が作成しています。ご意見がございましたら、事務局までご連絡ください。

思いやり

が必要！

まとめシート チーム つ
※この「まとめシート」は参加者の意見から、事務局が作成しています。ご意見がございましたら、事務局までご連絡ください。

リスペクト

が必要！

まとめシート チーム に
※この「まとめシート」は参加者の意見から、事務局が作成しています。ご意見がございましたら、事務局までご連絡ください。

相思相愛

が必要！

まとめシート チーム う
※この「まとめシート」は参加者の意見から、事務局が作成しています。ご意見がございましたら、事務局までご連絡ください。

相手(パートナーへ)
 愛情 尊重



が必要！



まとめシート チーム あ
※この「まとめシート」は参加者の意見から、事務局が作成しています。ご意見がございましたら、事務局までご連絡ください。

主張をした上
 の
 理解

が必要！





まとめシート チーム F
※この「まとめシート」は授業中の活動から、指導要領に照準を合わせ、授業を振り返って作成してください。

価値観の共有

が必要！

まとめシート チーム C
※この「まとめシート」は授業中の活動から、指導要領に照準を合わせ、授業を振り返って作成してください。

価値観の理解

が必要！



まとめシート チーム
※この「まとめシート」は授業中の活動から、指導要領に照準を合わせ、授業を振り返って作成してください。

男女の違いは無く
 個人の価値観
 の一致

が必要！

まとめシート チーム E
※この「まとめシート」は授業中の活動から、指導要領に照準を合わせ、授業を振り返って作成してください。

男女の価値観
 のちがいを認めること

が必要！

まとめシート チーム Z
※この「まとめシート」は授業中の活動から、指導要領に照準を合わせ、授業を振り返って作成してください。

コミュニケーション

が必要！

まとめシート チーム S
※この「まとめシート」は授業中の活動から、指導要領に照準を合わせ、授業を振り返って作成してください。

2人で
 話し合うこと

が必要！

まとめシート チーム S
※この「まとめシート」は授業中の活動から、指導要領に照準を合わせ、授業を振り返って作成してください。

勉強尊重制度

が必要！

まとめシート チーム K
※この「まとめシート」は授業中の活動から、指導要領に照準を合わせ、授業を振り返って作成してください。

妥 協

が必要！

まとめシート チーム F
※この「まとめシート」は授業中の活動から、指導要領に照準を合わせ、授業を振り返って作成してください。

がね

が必要！



ゲストコメンテーター からのコメント

吉田大樹氏

特定非営利活動法人
ファザーリング・ジャパン代表理事(当時)

萩原 なつ子氏

立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科教授
認定特定非営利活動法人
日本NPOセンター副代表理事

▼男女ともに自立をしていくことから

萩原 吉田さん、皆さんのテーブルを見て回ったり、発表を聞いたりして、どんなことを感じられましたか。

吉田 率直な意見が飛び交っていたので、非常に参考になりました。気になったことの 1 つは男女の比率についての考え方です。収入での男女比率が7:3、家事での男女比率が3:7になっている人が多かったですね。それは刷り込まれたイメージのかなと思います。

意見にもありましたが、夫婦で、また、夫婦になる前の彼女、彼氏のときにもその割合をきちんと話し合っていれば一番いいと思います。それが結果的に、例えば 8:2 でもいいと思います。ただ、まだ相手もない状況で、もう 7:3 がいいと思ってしまうのは危険です。できればフラットであってほしいと思いました。

あとは育休です。女子は「絶対育休をとる」に○をつけている人が多いのですが、男子は「育休が取れたら」としていました。それは状況が許したら取ろうかな、というマイナス思考ですね。僕は次女が生まれたときに、1 か月半の育休を取りました。特に男性の場合は、社会人になってしまうと家事や育児に触れる時間はなくなります。その大変さが理解できないまま、相手で



ある母親のことを理解しようと思っても、十分理解できないという状態が続く。それが価値観の違いになり、結果的に離婚をしてしまうというケースも出てくる。3 組に 1 組くらいが離婚してしまう世の中です。そこには、男性が育児、家事を理解していないという状況があるのではないのでしょうか。

そのことを理解するために、僕は育休が必要だと思っています。1 日とかではなく、せめて 1 か月とか 2 か月、家事や育児をする。僕の場合は毎日公園や児童館に子供を連れていき、1 日中遊んでいました。そうしたら、その 1 か月半で 3kg やせて、育休ダイエットができてしまいました。その結果、それほど子育ては大変なのだ、自分自身の中で理解することができました。ふだんからもっと関わっていこうと思いました。その気持ちがないと、どんどん気持ちがずれていく気がします。とはいっても、僕は 3 児のシングルファザーですが。(笑)

ふだんから家事や育児をやってよかったと思うのは、妻がうちを出て行ったときに、子供たちが「ママ、ママ」と泣き叫ぶこともなく、毎日をしっかりと過ごすことができたということです。どんどん自分のことは自分でやっていました。

萩原 つまり、自立ということですね。

吉田 そうですね。

萩原 自立というのは「4 つの自立」が大切と言われています。社会的自立と精神的自立、経済的自立、そして生活者としての自立。これは男女問わず必要だと思います。その辺りはどうですか。

吉田 始めから「あれはできない、これはできない」、としてしまうと、結局それが固定化されてしまいます。例えば、「僕は男だから料理ができない」、というハードルをすでに設けてしまう男性が多いですが、世の料理人の多くは男性です。そう考えると、自分でハードルを立てているからできないという状況になり、スキルも一向に上がらないということになってしまうのではないのでしょうか。コツコツとやり続けるからこそ、家事のスキルも育児のスキルも上がるのです。

男性はうちのついたおしめを取り替えたがらないという意見を聞きましたが、僕が育児で一番好きだったのがその取り替えだったんです。僕はおしり拭きを 3 枚以内で必ず拭き終える、というミッションをもって毎日、遊び心を持ってやっていた。そうすると、すごく楽しくできるわけです。

萩原 環境にも優しいよね。

吉田 そうですね。家事も育児も「やらなければいけない」という状況に追い込まれてしまうと、モチベーションが上がらないわけです。僕はシングルなので、毎日料理を作ります。そこでだらだら続けなくなかったので、夕食は同じものを 1 か月に 2 度作らないという目標を決めた。そうすることで自分の中に遊び心が生まれ、モチベーションアップにつながっていく。それが自分の生活の自立に役立っていく。

萩原 ねばならない、ではなく、どのようにエンジョイしていくか、という話ですね。

吉田 年をとって、介護に委ねなければいけないという状況になる可能性もあります。だからこそ、自立、自活できていくことで、できる限り自分自身でできる範囲を確保していくことが大事だと思います。



▼多様な個性を認め合って理解がはじまる

萩原 先ほど皆さんからの意見で、社会変革が必要という話が出たのですが、制度や法律というのは、実は地道に活動している方たちの動きがあって、これは必要だ、ということで法律になるケースもあります。皆さん自身が、社会変革の担い手になっていくということも考えてほしいと思いました。

吉田 待っているだけではだめだと思います。育休も自分から取るという気持ちを持つことで、まず変わっていくわけです。「取れたら」と言っていると、絶対みんな取らないですね。僕は26才のときに子供ができ、3人生まれて、そのときどきに対応しながら乗り越えてきたと思います。仕事だけをやっていくのではなく、仕事と生活の割合を考えながらやっていくことが大事なのです。

萩原 多くの皆さんが価値観の共有、相互理解というキーワードをあげました。あるところでは妥協という言葉もありました。歩み寄りとか。つまり、相手をよく知り理解し合う、利他性のようなものがやはり大事だということは、皆さん共通に感じたかと思います。

吉田 そのためにはコミュニケーションが大事ですね。

萩原 コミュニケーションも大事だと思います。

吉田 夫婦だと、わかったつもりになってしまう怖さがあります。わかったつもりで、ああ思っているだろう、と思っていると、気づいたときには全然違う場合があります。コミュニケーションの時間を確保していくことが大事です。俺は仕事だけしていればいい、と思って長時間労働でやっていると、会話する時間もなくなり、いいや、いいやと思っていると、いつの間にか置き手紙があり、家を出ていかれる。(笑)

萩原 男女の前に人間であり、それぞれの個を大事にしていくのは、重要だと思います。最近、お亡くなりになった童話作家のまど・みちおさんが作った「ぞうさん」という歌に込められたものが、実に重要だと思います。ちょっと皆さんと歌ってみましょうか。

「ぞうさん、ぞうさん、おはなが長いのね、そうよ、母さんも長いのよ。」

この歌はどんな歌でしょう？これは子象が「ぞうさん、ぞうさん、なぜそんなに鼻が長い。俺たちと違うじゃないか」と、いじめられている歌のようです。それに対し子象が、「そうだよ、僕はお母さんと同じで鼻が長いんだ」と誇りを持って答えているのです。つまり、まど・みちおさんが私たちに伝えたかったことは、違いを認め合うことなんですよ。その違いを違いとして認め合って、お互いを理解していきましょうという思いが、「ぞうさん」に込められているそうです。今日、皆さんが出された最後のまとめは、そういうことを理解したワンフレーズだったのではないかと思います。

では吉田さん、最後にメッセージをお願いします。

吉田 まずは個人が楽しく生きるのが、僕は絶対大事だと思っています。働く中でも、楽しく働くべきです。働くということだけではない自分の人生。仕事イコール人生、ではなく、自分の人生の中には、仕事もある子育てもある。地域との関わりもあるし、いろいろな関係を作っていくことを想像しながら行動していくと、自分がすべきことは何かが、自然と見えてくると思います。

これから女性が社会進出すると言われていますが、その場合の社会とは何を指すのでしょうか。今の現状で、女性が社会に飛び込んでしまうと、恐らく長時間労働とか、厳しい労働環境などの中に女性を飛び込ませるようなことになってしまいます。そうではなく、男性が働き方を変え、新しい社会を作り、そこにお互いが向かっていくという方向性を作ってほしい。そのためには、男性がもっと強く意識して、全部自分が家事をやるぐらいの気持ちでやってもらえたらうれしいですね。

萩原 21世紀、新しい社会をデザインする皆さんには、今日をきっかけに多様な人生を選んでほしい。いろいろな生き方が選択できる社会を、本当にみんなで一緒に作っていきなると、私自身も今日また実感しました。



■女子の声

色々な考えの人がいて、自分と違う視点からの考えがおもしろかった。将来のことを今までしっかり考えていなかったけれど、考えさせられたよい機会だったと思う。

他の意見を持った方とさまざまな意見を出し合うことによって、自分の考えが深まったり変わったりしていくことの楽しさを学ぶことが出来た。

男性について勘違いしていたことや思い込んでいたことがあったことに気がついた。お互い理解するところから始めるべきだと思った。

男女間の考えの違いはやはりあるものの、同時に共通の考えもあって共感できた。

男女の考えに大きな相違があると感じていたが、そこまで違いはなく、個人による違いだと気がついた。

男の人もこういうこと（育児や家事）を考えているのだなぁと知って、それも私の中でのステレオタイプだと気付きました。

お金に関しては、まだ男性の方が収入が多くなければならないという意見が多くて、私も前はそう思っていたけど、男性に頼って稼いでもらうのではなく、女性も頑張ってお互いに支援していくべきだと思うようになりました。

自分の認識がまだまだ幅の狭いものであることに気付かされました。たくさんの人の色々な視点を覗くことができてよかったと思います。男女で共通した意見もあれば異なる意見もあって、これからの私の人生にもつながる話が聞けたような気がします。

女子の中でも意見はさまざまでびっくりしました。“男女である前に人間”なので、性別関係なく人間個人として尊重し合っていくことが大切だと思います。

そもそも人間だ！っていう考えはたしかに納得できた。違いを認めて分かち合うことが大切だと思いました。

今まで自分一人や身近な人とだけで考えてきた未来像を初めて会う同世代の人たちと共有することで、自分との共通点や違う点を見つけられて、すごくよい経験になった。

普段生活の中では話せない人と話すことで、これから違う未来へ向かっていくと思っていた人たちが、本当はみんな一つ未来をつくっていくのだと感じた。

男性が想像以上に育休をとりたいと言っていてびっくりした。したい人はいるけど”出来ない社会”なのだと思う。今を当たり前・常識と思うのではなく1人1人が変えるべきと気づき行動していかねばならない。



インタビューより



—参加して得るものがありましたか。

僕はこれまで女性の考えを聞く機会がなかったのですが、女性の考えや思いといったものを共有することができ、とても有意義な時間でした。

—新鮮な意見等ありましたか。

男が働くものという固定観念があったのですが、男性に支えてほしいという意見もあれば、私も働きたいから一緒に働こうという意見もあり、女性も様々な

だとわかったのが非常に新鮮でした。

—これからは生かしたいことなどありますか。

自分としては、これから結婚したい相手が現れたら、コミュニケーションをとりお互いのことを理解し認め合える関係を作りたいと思います。



■男子の声

男女の関係については、何となく分かっていた自分の意見を持っているつもりだったけど、話し合いをしていると自分の考えのあいまいさが分かった。もっと具体的に考えていこうと思った。

たくさんの人の意見を聞いて、また自分の意見を言うことで知識が深まり視野が広がった。自分の中での意識がガラッと変わった。

男女間には認識の差があることは前から理解していたが、その程度がとても大きい事に驚いた。しかし話し合えばわかることで相入れないようなことでもないと思う。お互いの事を考え思いやる、そしてそれを踏まえた行動をすれば男女が暮らしやすい世界となるのではないかと感じた。

自分の中にあった男女の壁について考え方が少し変わった。思ったよりも男女の考えに違いがなく共通の認識があった。

男女で共通した考えもあれば、全く違う考え方もあったのでとても新鮮でした。その「違い」を互いに理解するためにも、男女での話し合いが大切だと感じました。「本音」と「たてまえ」があって、その「たてまえ」に「本音」が近づいていくように、少しづつでも行動をおこしていきたいと思いました。

男と女を分けて自然と物事を考えていましたが分ける必要などなく、男も女も人間という考え方で共に歩みより共に尊重して社会に向けアクションを起こせばいいんだと感じました。

自分が思っていたより凝り固まった考え方をしていたことに気づいた。柔軟性が大切だと思った。選択肢は多様だということに気づいた。

文字としての男女共同参画、実態としての共同参画、いざ自分がやるとしての共同参画、自分が思い描いていることは全く異なり理想と現実とは違っていることが分かりました。特に男としての家事のイメージ、具体的な家族のあり方について考えたことがなかったのでよい経験になりました。

参加する前は、女性の社会進出や男女共同参画社会を作るためには法整備や社会側の変革が必要だと思っていたが、実はそのような制度などはすでに整えられはじめていて、実現させるためには自分たちが何か行動することが必要だということが分かった。

社会改革ばかりではなく、人としての尊重や愛情も必要だと感じた。

男女の価値観による違い、というよりも個人での違いということの方が大きかった。男、女で分けるのではなく、一人の人間として尊重を！



—参加していかがでしたか。

私は大学で環境活動をやっている学生団体に入っています。委員会では男の人が多い活動、女の人が多い活動と活動によって男女比率が偏っているんです。今回の「ワールド・カフェ」のような男女共同という視点はいいなと思いました。これを機に後輩たちにも伝えていきたいと思います。

—どのような理由でいらしたのですか。

自分もともと男女共同参画について考えなくては、と思っていました。でも女性の生の意見を知らないと思い、実際に生の意見を聞こうと思って今回参加しました。

—参加されてみていかがでしたか。

家庭というものの捉え方が男性と女性でだいぶ違うなと思いました。女性の方

がより、子どものことや家庭のことをちゃんと考えているのだなという感じがしました。

—これから何かに生かせそうですか。

これから大学の中などでもちゃんと話し合えるような場をつくっていききたいなと思いました。





平成 26 年 8 月

文部科学省生涯学習政策局男女共同参画学習課

[http://www.mext.go.jp/
a_menu/ikusei/kyoudou/index.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/kyoudou/index.htm)